

作成日 2024 年 11 月 27 日

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名 : Flow diverter 留置後のステント長短縮に関する検討

1. 研究の対象

2017 年 5 月 1 日～2025 年 3 月 31 日に、当院で未破裂脳動脈瘤に対してフローダイバーター (Flow diverter; FD)留置術が行われた方

2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日 : 2025 年 2 月 1 日

4. 研究目的

本研究では留置後のステント長の短縮について、その発生率や危険因子を検討することを目的とします。

5. 研究方法

対象患者において診療のために収集した情報を用いて、フローダイバーターが短縮した長さ、および短縮率とその関連因子を探索します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテや画像所見から、年齢、生年月、性別、既往歴、内服薬、術前 ADL、動脈瘤の性状 (最大径, neck 径, 局在 (前方循環/後方循環)), 留置血管径 (FD 留置部の近位径, 遠位径), FD の種類およびサイズ, 留置直後と比較した FD の短縮長および短縮率 (留置長に対する短縮長の割合), FD の屈曲指数 (留置時の FD 長を, FD 近位端・遠位端間を直線上で計測した長さで割って算出) を収集、算出いたします。

7. 外部への試料・情報の提供

なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反 (企業等との利害関係) について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は脳卒中科の研究費 (運営交付金) です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究において利益相反のある研究者がありますが、当院において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。また、本研究のデータ管理・データ解析・結果の解釈・結果の公表や論文投稿を行うかの判断には関与しません。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 脳卒中科 細尾 久幸
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：029-853-3220（平日 9～17 時）

当院の研究責任者：筑波大学附属病院脳卒中科 細尾 久幸